

市内で広がるSDGsの取り組み



体操着のリユース活動

（有）中田薬局は、地域に寄り添った「かかりつけ薬局」を目指し、昨年甲子小、双葉小の体操着のリユース活動を無料で行っています。卒業で不要になったものや、サイズが小さくなり、着られなくなったものを寄付してもらい、洗濯、また必要に応じて修繕し、必要としている人にお渡しをする活動です。過去の利用者からも「まだ着られるものを再利用してもらえてありがたい」「サイズが合わなくなる度に買い換えることは家計の負担となるので、ありがたい」「ぜひ他の小学校でも



取り扱って欲しい」といった声も上がっています。また、この取り組みへの認知をさらに広げるため、約1カ月半、2人のインターン生を受け入れました。2人のインターン生は、チラシやポスターを制作し、市内の事業所への周知活動に取り組みました。今回インターン生として、この活動に取り組んだ日本大2年の深田流石さんは「途中で悩んだ時も社長をはじめ、スタッフの皆さんに相談に乗っていただき、温かく受け入れてくれたので、前に進むことができました」と振り返りました。同じく東北芸術工科大1年の板垣美里さんは「中田薬局がこの活動を事業とは離れて、子どもたちのためにやっているということに共感し、自分が何ができるかを考えながら進めました」と振り返りました。2人を受け入れた中田義仁社長は「インターンという形で学生を受け入れるのは今回初めて。観光で来るよりも一緒に仕事をする形で釜石に来てもらえれば、より釜石を知ってもらえるし、つながりも深くなると感じた。今後も2人が釜石に興味を持ってもらえれば嬉しい」と期待を込めました。3月14日からは、新たに甲子中の体操着の受け入れも始まり、活動が拡大されています。

左から中田社長、深田さん、板垣さん、総務担当の中田貴世江さん



受付窓口・問い合わせ

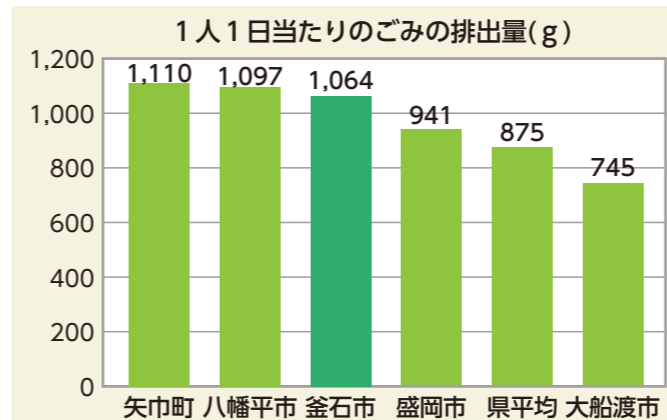
甲子小、甲子中：中田薬局 松倉店
☎23-1230
双葉小：ハロー薬局 ☎23-8455

在庫状況など、詳細は
中田薬局のホームページを
ご確認ください



※来店時は事前に電話での問い合わせをお願いします

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



出典：岩手県令和2年度市町村ごみ排出量（速報値）

もったいない・いわて☆食べきり協力店



県は、食品ロスの削減に取り組む飲食店、宿泊施設などを「もったいない・いわて☆食べきり協力店」として登録しており、市もこの事業に参画しています。市内では25店舗が登録されています。

パソコンなどの無料回収

リネットジャパンリサイクル(株)との協定(R3.1.20締結)により、無料で自宅から回収してもらえるようになりました。インターネット、電話などで申し込みできます。

詳しくは次のホームページや電話(0570-085-800)で問い合わせください。



携帯電話・スマートフォンを回収

生活環境課と各地区生活応援センターでは携帯電話、スマートフォンを回収しています。回収された携帯電話やスマートフォンは、知的障がい者の手で分解され、資源として再利用されます。知的障がい者の雇用やスポーツ大会の運営などにつながる応援プログラムです。



問い合わせ
市生活環境課 ☎27-8453

持続可能なまちを一人一人の力で

SDGsとは？

SDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)は、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すため、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された国際目標で、17のゴール・169のターゲットから構成されています。今後、市内で行われているSDGsの取り組みを不定期で紹介していきます。

県内ワースト3 ごみの排出量

釜石市は、1人1日当たりのごみの排出量が多く、県内33市町村中ワースト3となっています。ごみ処理に係る費用も毎年約6億円を支出するなど、ごみの減量と分別の徹底が喫緊の課題です。市は、このような取り組みを行うことで、ごみの減量・再資源化を進めています。

